

花・夢・あいさつで優しさいっぱい

増田小

中種子町立 増田小学校



2月号

粘り強くやり抜く心を育てる

校長 川邊 浩幸

北京冬季オリンピックでは、日本代表選手たちが連日めざましい活躍をしています。フィギュアスケートで捻挫をしながらも前人未踏の四回転アクセルに挑戦し続けた羽生選手、決して大技ではないけれど自分のできる技を磨きスピードや着氷など完成度を高め続けた坂本選手、持久力を徹底的に鍛えオールラウンダーとしてスピードスケートで五種目に出場し念願の金メダルも獲得した高木選手、強い相手に対しても最後まで諦めずにチームで作戦を練って励み合い前向きにプレーしていたカーリング「ロコ・ソラーレ」の四人など、選手たちの頑張り続ける姿が私たちに大きな感動、元氣や勇氣を与えてくれていきます。夢や目標を叶えようとする強い思いと十二分な練習量がきつと自信や誇りとなつていくのでしよう。

さて、本校でも日々、各教科の授業や特色である体育指導を通して、粘り強く取り組むことに力を入れていきます。「分からない」「できない」と簡単に諦めずに時間いっぱい考えて解いて無答をなくしたり、他の人と比べるのでなく昨日までの自分に打ち勝つ気持ちで取り組んだりするなどの努力をさせていきます。その成果が、学力や体力の向上につながり、自立や協調の心もどんどん成長しているように思います。

本校では、今後とも「生きる力・生き抜く力」の育成に努めてまいります。今の子供たちが大人になる二〇三〇年頃の社会情勢を見据え、夢や希望をもって未来に立ち向かうための高い学力を育て、折れない心と健康な体をつくつてい

きます。そのために、ICT活用やキャリア教育、読書指導も推進していきます。家庭・地域・他校種・関係機関等との連携も強化し、知・徳・体のバランスのとれた教育を一層進めてまいります。今後とも皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

最後に、羽生選手がこれまでに語った言葉の中から、私が心に残っているものをいくつか紹介します。

「なるほど」と感心させられたり、見方や考え方が参考になったりしたものがありました。

○「一番努力した者が、必ず一番の結果を出せるものではありません。しかし、努力しなければ、結果は決して残すことはできません。」

○「失敗があればあるほど悔しい気持ちがあつて、それが成長につながると思つているので、別に切り替えなくていい。悔しい気持ちがあるから、明日ワクワクできる。」

○「勝ち負けよりも、どれだけ成長できるか、どんな経験ができるかなので。」

○「努力はウソをつく。でも、無駄にはならない。『努力の正解』を見つけないことが大切。」

○「できるときにできることを精一杯やる。できないときは、そのときにできることをやる。」

(著書『羽生結弦の言葉』より)

「租税教室」で学んだよ

1月17日に、6年生を対象にした「租税教室」がありました。町役場税務課から2名の方が来校され、税金の大切さや使われ方を講話やDVDで御指導くださいました。最後に、1億円の実物大レプリカに触れた子供たちは、驚きでいっぱいの様子でした。



「あつたかさタイム」で友達のことを考えたよ

「〇〇さんのイメージカラーは何色かな。」朝の活動「あつたかさタイム」での子供のつぶやきです。

本校では、令和二・三年度と、熊毛地区の道徳教育研究協力校として「自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成」に取り組みできました。道徳科の授業以外にも、「親切・思いやり」の心を育む活動の一環として、昨年度から朝の活動で、このような「自己・他者理解を深める取組」を続けています。

「〇〇さんは、私が困った時にいつも優しく励ましてくれるから、ピンクだと思う。」と理由を言ってから、相手にピンク色のカードを渡します。もらった子は「有難う。じゃあ私は。」と言いながら、逆に色と理由を説明して、その友達に自分の考えた色カードを渡しています。自分や友達のことをもっと知り、温かい気持ちになつてほしいという願いで設定した「色育」ですが、今ではすっかり定着し、「あつたかさタイム」は子供たちの笑顔を増やす絶好の場となつていきます。



入賞おめでとう

「ふるさとの風景画」作品展

○教育長賞

五年 織部 早希

○優秀賞

三年 盛田 大智

四年 遠藤 啓真

五年 小谷 幹太

六年 松元 有希

○入選

三年 中崎 結夏

三年 横山 菜々子

四年 宇都 紗耶花

四年 中崎 虹心

五年 宮脇 海翔

「こんなお風呂あつたらいいな」図画展

○最優秀賞(中学年の部)

四年 南 実央

○入選

二年 上妻 恵実

二年 中嶋 希葉

頑張ったね!

